

平成 30 年度第 2 回我孫子市男女共同参画審議会 会議概要

1. **会議の名称** 我孫子市男女共同参画審議会
2. **開催日時** 平成30年11月27日(火)午後1時30分～3時40分
3. **開催場所** 我孫子市議事堂第1委員会室
4. **出席者(敬称略)**
(委員)皆川満寿美、齋藤美重子、柳川眞佐子、横田光夫、栗原千鶴
相馬英里、中野きよみ、以上7名
(事務局)飯田秘書広報課長、小池男女共同参画室長、大島
5. **欠席者** (委員)池田尚史、福島慎太郎、市之瀬啓之、山家祥文、以上4名
6. **傍聴人** なし
7. **議題**
(1)平成30年度事業について
(2)我孫子市第3次男女共同参画プラン(案)について
(3)その他
8. **会議の概要**

(1) 平成30年度事業について(報告)

前回審議会から実施された事業について事務局から報告した。アビスタホールで10月28日にあびこ女性会議との共催で講演会を開催した(参加者52人)。11月12日～25日の女性に対する暴力をなくす運動期間について、国の作成したチラシを掲示し、市ホームページとフェイスブックで告知した。

<委員からの主な意見>

- ・国が呼びかけているパープルライトアップなども積極的に取り組んでほしい。

(2) 我孫子市第3次男女共同参画プラン(案)について

事務局から第3次プラン策定スケジュールについて説明した。今日の委員の意見、及び並行して収集している庁内各課からの意見を反映し、パブリックコメントにかける計画案を完成させる。パブリックコメントは10月中旬から開始予定。実施日は広報で告知し、1か月間実施する。その結果を反映させたものを1月の審議会、2月中旬の本部会議で確定し、印刷に入る。

<委員からの主な意見>

パブリックコメントがあることを予告しないとのことだが、今後は市 Facebook などでの周知を検討していただきたい。

プラン案について章ごとに検討した。

<委員からの主な意見>

第1章について

- ・策定趣旨と位置付けにDV防止法同様、ストーカー規制法を記載してみてもどうか。
- ・策定主旨に国際的規範についても書いてみるどうか。
- ・実施事業一覧とビジョン編の関連性がわかるようにしてほしい。事業一覧にはもう一つ欄を加えて、各事業が「基本目標－方向性」のどこにあたるかを示すとよい。
- ・民法改正離婚後300日規定などを年表に記載してみてもどうか。
- ・SDGsには、5番のジェンダー平等が全体の横串であることを加えられないか。
- ・条例の条文で変えられないとのことだが、基本理念(8)にある「国際的な動向」は「理解」だけでは弱いと思う。「国際的な規範を重視する」ことをどこかに加えられないか。
- ・条例や宣言の文はここで改めて使うべきか。特に第3次プランの基本理念が条例そのままなのはおかしくないか。
- ・策定主旨のところに「平成13年に我孫子市は千葉県で唯一の男女共同参画都市宣言をした」と記載するとよい。
- ・基本理念の説明文の最後にビジョン編につなげる一文を記載してみてもどうか。
- ・体系図は「構成」の説明文の次に掲載する方がわかりやすいのではないか。
- ・進行管理の段階での追加訂正は、あくまでも前向きなものであることを書いてほしい。

第2章について

- ・商業集積地は柏市だけでなく、近隣自治体とする方がよい。
- ・事業所の状況と隣接の自治体の状況を合わせて考えていく必要がある。
- ・各基本目標の評価指標は第2章だけでなく第1章の「1-5構成」にまとめて置くとよい。
- ・生活困難、情報弱者、外国人、複合差別など、脆弱性の強い人のことを文中だけではなく、項目にあげるべきではないか。それが無理なら文中でもっと強調すべき。
- ・「包摂」について触れるのはどうか。

- ・障害者のことも書いてほしい。障害のある人も参加しやすい場を作ることが必要だと思う。
- ・女性活躍推進協議会について説明が必要。用語解説に記載してほしい。

第3章について

- ・事業一覧で各課の文言が前回プランと変わっていない。もっと書き込むべき。
- ・第1章策定趣旨に若年層の性的搾取について書いてあるが、事業の方に反映されていないのではないか。
- ・今後10年の計画なのに事業が今やっていることだけでよいのか。
- ・国連で小農振興について採択の予定である。農業分野の事業をもっと書き込めたらいいのだが。
- ・職員研修は市民にも開放してほしい。
- ・情報発信のルートの拡充について、対面で行う直接的な広報の場を検討してもらいたい。
- ・市内ですでに活躍している女性や、企業や商店の取り組みを紹介したり、応援したりする事業をやるとよいのではないか。
- ・内容が働く世代だけに偏っていないか。例えば高齢の人もがんばることができるはず。
- ・市内の高校・大学を含め、子どものうちから継続してDVや男女共同参画について学べるような取り組みを行うとよい。
- ・農業者の意識啓発は、女性だけでなく男性にも必要ではないか。

(3) その他

- ・今回の意見を踏まえ、追加修正する。パブリックコメント開始までに再度提示する。
- ・次回審議会開催はパブリックコメントの結果を踏まえ1月に行う予定。